

『データサイエンス指向の統計学』（大内俊二 著，学術図書出版社）

正誤表 第 2 版 第 2 刷 用

頁	場所	誤	正
72	14 行目	互いに背反な事象	互いに排反な事象
74	下 3 行目	互いに背反な事象	互いに排反な事象
75	1, 12 行目	互いに背反な事象	互いに排反な事象
87	傍注	<i>descrete random</i>	<i>discrete random</i>
96	14 行目	互いに背反だから	互いに排反だから
141	下 1 行目	$T = \frac{(\bar{X} - \bar{Y}) + (\mu_1 - \mu_2)}{\sqrt{U^2(\frac{1}{m} + \frac{1}{n})}}$	$T = \frac{(\bar{X} - \bar{Y}) - (\mu_1 - \mu_2)}{\sqrt{U^2(\frac{1}{m} + \frac{1}{n})}}$
142	6, 12 行目	この P 値が α より小さければ	この P 値が有意水準 α より小さければ
143	下 11 行目	それぞれの平均 $\bar{X}$, $\bar{Y}$ を求めるというやり方は	それぞれの平均 $\bar{X}$, $\bar{Y}$ の差 $\bar{X} - \bar{Y}$ の変動を考えるというやり方は
185	6 行目	2 次元確率変数 (X, Y) が，任意の実数 t, u について	2 次元確率変数 (X, Y) について，任意の実数 t, u に対する確率 $P(X \leq t, Y \leq u)$ が [§]